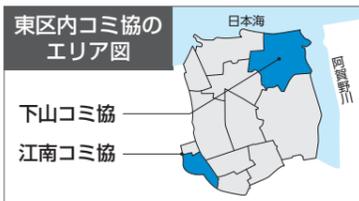


トーク(得)
東区する
コミ協
情報

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は地図にある2つのコミ協を紹介します。



下山地区コミュニティ協議会 会長 大河内 一男

多様な団体の結束力で活動を

当コミュニティ協議会は、自治会をはじめ地域に根ざした多くのボランティアグループ等これまで活動してきた組織、団体から構成されています。それぞれの活動を尊重しながらお互いに協力し、より良い地域づくりに努めています。



下山ふれあい祭り

また、下山コミュニティハウスは、様々な地域活動の拠点となっています。交通安全フェア、クリスマスコンサート、下山ふれあい祭り、空港を花絵で飾ろう、自治会対抗の下山オリンピック等、小・中学生と多くの人が交流するイベントも開催されました。

これからは、世代を越えての活動や日常的に行われる



交通安全フェア

活動が求められます。どのような地域に住みたいか人まかせにすることなく、自主的に活動することが元氣な地域をつくることになると思います。

江南小学校区コミュニティ協議会 会長 新保 正樹

初の「江南ふれあいまつり」を開催

当コミュニティ協議会では、「紙ヒコーキ選手権」が定着しておりますが、さらに幼児から高齢者までの世代交流を図るため、石山南まちづくり



日本舞踊

センターとの共催で「江南ふれあいまつり」を開催しました。民生委員児童委員協議会、江南清寿会、ふれあいスクール運営委員、PTA、まちづくりセンター事業企画部会の協力のもと、平成26年11月23日(日)に開催し、250人の参加者でにぎわいました。

当日は万代太鼓、手品、児童による日本舞踊の披露や餅つき体験、射的ゲーム、サッカーゲーム、高齢者にはビンゴゲームなどさまざまな催しを行いました。



餅つき体験

参加者からは「楽しかった」、「ぜひ来年も」との意見があり、今後も地域住民の絆を深めるため、「ふれあいまつり」を開催したいです。

そうなんだ!
東区について知るクイズ

正解発表

区民の皆様から166通の回答をお寄せいただきました。いただいた広報紙へのご意見を、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

図書カード当選者の30名は、2月6日の広報紙編集会議での抽選により決定しました。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



抽選を行う前田区長(右)と音田編集委員長(左)

- 答え
- ①東区の人口は約(イ:13)万9千人です。
 - ②東区のイメージカラーは(ア:アクアブルー)です。
 - ③東区には全国的にも珍しい砂丘湖である(ウ:じゅんさい池)があります。
 - ④東区役所脇の県道4号線は通称(イ:赤道)と呼ばれており、交差点の名前では正式名称になっています。

編集後記

今年度の目標であった第3号を発行することができました。おかげさまで第2号に掲載したクイズに多数の応募があり、編集委員一同大変嬉しく思っております。

今後も自治協・コミ協などの情報を発信するとともに、地域に密着した記事を掲載していきたいと思っております。(佐藤 泰司)

じちきょうぎかいだより
ひがしく
東区自治協議会
だより

平成27年3月15日発行

第3号

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709
新潟市東区下木戸1丁目4番1号
東区役所地域課内
TEL: 025-250-2110
FAX: 025-271-8131
E-Mail: chiiki.e@city.niigata.lg.jp

第4期東区自治協議会を振り返って

会長、副会長との
座談会を実施



左から横山副会長、山中会長、大野副会長
2年間お疲れさまでした

参加者 山中 知彦 会長
横山 敏之 副会長
大野 純一 副会長

司会 音田 智
広報紙編集委員長

大野 選任された当初はどう活動していいかわからず、各委員の足並みがそろっていませんでした。今は各部会の状況を見ても、みんなでまとまって積極的に活動し、提案事業でも良い結果を出しています。今期の状況を次期委員に繋げ、継続させることも重要です。

各委員のまとまりが大きな力に

司会 はじめに第4期東区自治協議会(平成25、26年度)の成果や感想についてお願いいたします。

山中 委員で区内の公共交通に関するワークショップを行ったことです。各委員が自由に意見を交換できた初の試みとして、成果だったと思います。

横山 各部会が、地域コミュニティ協議会(以下「コミ協」)の会長や地域教育コーディネーターとの意見交換会を実施し、地域の声を積極的に聞いたことです。自治協議会の役割である、さまざまな意見の取りまとめができたと思います。

工場群や学生の力をまちづくりへ

司会 次に視点を変えて、自治協議会活動をとらえて見えてきた東区の魅力について教えてください。

大野 東区の特徴は、産業や工業が発展していることと新潟空港があることだと思います。こういった魅力を委員が潤滑油になり、地域づくりに繋げられればいいですね。

横山 私が所属する木戸コミ協の話で申し訳ないのですが、工場夜景に注目して、新潟県立大学の学生のガイドのもと、夜景ツアーを実施しました。そういった新たな魅力や若い力をまちづくりにうまく取り込めればと思います。

山中 東区には、既成の地域コミュニティのしがらみのようなものが少ないと感じました。その反面まとまりに乏しいとの見方もありますが、そういった自由な雰囲気には、さまざまな可能性があると思います。



「協働の要」としての活動を

司会 最後に、今後の東区自治協議会に期待することや課題についてご意見をお聞かせください。

横山 現状では、行政からの連絡や報告が非常に多いです。これからは、今以上に委員が地域の声を行政に届け、提案をする自治協議会にしていくことが望ましいです。

山中 自治協議会というのは、行政からの報告を聞くだけではなく、市の政策を区民のためにうまく取り込むための組織だと思います。そのために、委員がいかに「協働の要」としての意識を持ちながら活動できるかが今後の課題だと感じております。

大野 今後は、自治協議会として、コミ協をはじめとする地域との連携をより密接に行うことが重要です。そうすることで、自治協議会が「協働の要」としてさらに発展していくと思います。

司会 今期の活動を次期委員に引き継ぐことが大切だと痛感しました。貴重なご意見ありがとうございました。



第1部会（市民協働部門）

部会長 五十嵐 初司

第1部会は、従来から防災・減災や防災意識の向上などに取り組んできました。今年度は「地域が行う総合防災体制の確立支援事業」として、「災害時ひなん誘導看板の設置」を東区内のコミ協に呼びかけてきました。



各コミ協では、地震や津波発生時の避難地図作りのワークショップを実施しながら、ひなん誘導看板の設置個所を検討し、設置してきました。最終的に、各コミ協の協力で308か所に看板を設置することが決まっています。

また、平成27年1月に、東区内12コミ協の会長と第1部会とで意見交換会を実施することができました。このような場を通して、お互いの考えを理解でき、今後の自治協とコミ協との協働をより前進させるための礎となりました。

今後も安心安全なまちづくりに取り組んでいきます。



第2部会（福祉・教育・文化部門）

部会長 川島 和弘

第2部会では、東区の魅力を周知し、区民の皆様へ東区への理解や愛着を深めていただくことを目的に「東区を紹介するデジタル紙芝居」を制作しました。

物語の内容は、「東区に住んでいる老夫婦のもとへ、転勤族であった若い夫婦が子ども二人を連れて帰り、同居することになる。そして、老夫婦と若い夫婦・子どもとのかけ合いをとおして、東区の魅力を紹介する」という構成にしました。



4人の編集委員を中心に部会員11人が考えを出し合い、予想以上の出来栄になったと感じております。

完成した作品は、DVDに収録して東区内のコミ協や小・中学校などに配布するほか、区ホームページ上で公開しますので、ぜひ見ていただきたいと思っております。

今年度の事業をとおして、東区内の文化や歴史を学び、多くの人たちが地域のために頑張っていることを知ることができました。



第3部会（産業・環境部門）

部会長 早福 晃

私たちが暮らす東区には、身近に数多くの事業所があり、なかには、世界で認められ活躍している事業所もあります。また、日常的に地域の一人としての活動を実践している事業所もあります。

今年度は、そのような活動を区民の皆様にお伝えすることで、区内の『産業』に関心をもっていただき、また、地域の誇りの一つに加えていただきたいとの思いで「東区内事業所の地域貢献活動情報集」を作成しました。

第3部会では、掲載する情報の内容や、情報の集め方などを検討したうえで、一般に募集を行い、その後、各事業所の皆様から提供いただいた情報を冊子にまとめる作業を行いました。

とりわけ、大変お忙しいなか、情報提供にご協力いただいた事業所の皆様に、心からお礼を申し上げます。

完成した冊子は、東区内のコミ協や小・中学校などにお配りするほか、その内容を区ホームページに公開しますので、大いに活用していただきたいと思っております。

今年度の成果としての冊子は完成しましたが、東区には、ここに掲載されていない事業所が数多くありますし、掲載されている内容をより良くしていくなど、機会を捉えて内容の充実を図る必要もあると考えています。

部会では引き続き、身近な産業・環境部門の検討を行ってまいりますので、皆様のご意見をいただければありがたいと思っております。



親しみわく区バスへ 東区バスがリニューアル!

東区バスに親しみを持ってもらうための取り組みとして、車両の外観と車内放送をリニューアルしました。外観は、東区のイメージカラーであるアクアブルーを基調とし、「マンガ・アニメのまち にいがた」サポートキャラクターの「花野古町」と「笹団五郎」、淳足柵マスコットキャラクターの「ぬた

りん」を描きました。また、古町と団五郎が車内放送で名所や施設などを紹介します。その他、利便性向上のため、一部の停留所で最寄りの公共施設の案内や、電車や路線バスとの乗り換え案内、英語でのアナウンスを加えました。皆さま、ぜひ区バスをご利用ください!



自治協委員が伝える東区の魅力

～今回は東地区（紫竹、木戸、牡丹山、大形地区）を紹介します!～

この地域は、旧石山村・旧大形村の一部から構成されています。区のほぼ中央に位置することから、東区役所、東総合スポーツセンター、こども創作活動館、エコプラザなどの公共施設が数多くあります。近年では、宅地・商業開発による人口増加に伴い、大型ショッピングセンターも多くなりました。

そのように開発が進む東地区ですが、新潟県内で出荷量が1番の大形のばれいしょ、竹尾の切り花など農業も盛んです。また、珍しいミズアオイが大形地区で見つかり、地元の方によって保護活動が行われています。夏から秋にかけて、青紫色の可愛い花が見られます。



大形神社の太々神楽



津島屋諏訪神社の大げやき

また、主な文化財として、約200年前から続く大形神社の太々神楽や、津島屋諏訪神社の大げやきなどがあります。さらに、平成26年9月に

牡丹山諏訪神社で新潟大学考古学研究室を中心とした調査団が行った発掘調査では、須恵器の器台（壺をのせる台）の破片が見つかり、古墳があったことが明らかになりました。このことは、東区にあったとされる、日本で最初の城柵「淳足柵（ぬたりのき）」を探す手がかりになるかもしれません。

このように東地区は、新しいものと歴史あるものが共存し、さまざまな魅力があります。（荒木美穂子）



須恵器の器台（5世紀前半）



大形のばれいしょ



竹尾の切り花



ミズアオイ



牡丹山諏訪神社での発掘調査